

注3

大学番号：私118

[平成29年度設置]

計画の区分：学部を設置

注1

届出

明星大学 心理学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人明星学苑
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 教務企画課

職名・氏名 キョウムキカクカチョウ 教務企画課長 クマガイ タカシ 熊谷 孝

電話番号 042-591-5212

（夜間） 042-591-5212

F A X 042-591-5940

e-mail gad-eduml@ml.meisei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

<心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 明星学苑

(2) 大学名

明星大学

(3) 大学の位置

〒191-8506
東京都日野市程久保2丁目1番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ モトカズ) 吉田 元一 (平成24年11月22日)		
学長	(オオハシ トモヒロ) 大橋 有弘 (平成26年4月1日)		
学部長	(サカイ アツシ) 境 敦史 (平成29年4月1日)		
学科長等	(コヌキ サトル) 小貫 悟 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	120人	- 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	120 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.16倍	
志願者数	1196 (-) [1]	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
受験者数	1143 (-) [1]	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合格者数	360 (-) [0]	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
B 入学者数	140 (-) [0]	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
入学定員超過率 B/A	1.16		-		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	140 [-] (-)	0 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	140 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	140 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0 %
			平成30年度	- 人	- 人		
			平成31年度	- 人	- 人		
			平成32年度	- 人	- 人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		- %
			平成31年度	- 人	- 人		
			平成32年度	- 人	- 人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	- 人	- 人		- %
			平成32年度	- 人	- 人		
平成32年度 入学者	- 人	- 人	平成32年度	- 人	- 人		- %
合 計	140 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	自立と体験1	1前	2			1 2						兼1 教員間の負担格差解消のため担当者変更(29) (削除) 境 敦史(専任) (追加) 鈴木 浩子(兼任)
	哲学1	1・2・3・4前		2								兼1 前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫(兼任) (追加) 浜野 喬士(兼任)
	哲学2	1・2・3・4後		2								兼1
	倫理学1	1・2・3・4前		2								兼1
	倫理学2	1・2・3・4後		2								兼1
	論理学1	1・2・3・4前		2								兼1
	論理学2	1・2・3・4後		2								兼1
	宗教学1	1・2・3・4前		2								兼1
	宗教学2	1・2・3・4後		2								兼1
	美学1	1・2・3・4前		2								兼1
	美学2	1・2・3・4後		2								兼1
	心理学1	1・2・3・4前		2								兼1
	心理学2	1・2・3・4後		2								兼1
	教育学1	1・2・3・4前		2								兼1
	教育学2	1・2・3・4後		2								兼1
	倫理学3	2・3・4前		2								兼1
	倫理学4	2・3・4後		2								兼1 平成31年度以降担当教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫(兼任) (追加) 後任未定
	美学3	2・3・4前		2								兼1
	美学4	2・3・4後		2								兼1
	哲学3	2・3・4前		2								兼1 前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫(兼任) (追加) 浜野 喬士(兼任)
	哲学4	2・3・4後		2								兼1
	思想への招待	1・2・3・4前		2								兼1
	健康・スポーツ科学論	1・2・3・4前・後		2								兼3
	健康・スポーツ演習1	1前・後		1								兼7
	健康・スポーツ演習2	2前・後		1								兼7
	健康・スポーツ演習3	3前・後		1								兼7
	健康・スポーツ演習4	4前・後		1								兼7
外国語(英語)1A	1・2前		1								兼5	
外国語(英語)1B	1・2前		1								兼5 前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) G. O. アデボノジョ(兼任) (追加) D. シュミッド(兼任)	
外国語(英語)2A	1・2後		1								兼5	
外国語(英語)2B	1・2後		1								兼5 前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) G. O. アデボノジョ(兼任) (追加) D. シュミッド(兼任)	
外国語(ドイツ語)1A	1・2前		1								兼1	
外国語(ドイツ語)1B	1・2前		1								兼1	
外国語(ドイツ語)2A	1・2後		1								兼1	

外国語（ドイツ語） 2 B	1・2後		1				兼 1	
外国語（フランス語） 1 A	1・2前		1				兼 1	
								前任教員退職のため担当者変更(29) (削除)塚越 敦子(兼任) (追加)林 伸一郎(兼任)
外国語（フランス語） 1 B	1・2前		1				兼 1	
								教育効果向上のため担当者変更(29) (削除)片山 文保(兼任) (追加)能登 省二(兼任)
外国語（フランス語） 2 A	1・2後		1				兼 1	
外国語（フランス語） 2 B	1・2後		1				兼 1	
								教育効果向上のため担当者変更(29) (削除)片山 文保(兼任) (追加)能登 省二(兼任)
外国語（中国語） 1 A	1・2前		1				兼 1	
外国語（中国語） 1 B	1・2前		1				兼 1	
外国語（中国語） 2 A	1・2後		1				兼 1	
外国語（中国語） 2 B	1・2後		1				兼 1	
外国語（韓国語） 1 A	1・2前		1				兼 1	
外国語（韓国語） 1 B	1・2前		1				兼 1	
外国語（韓国語） 2 A	1・2後		1				兼 1	
外国語（韓国語） 2 B	1・2後		1				兼 1	
日本語 1 A	1・2前		1				兼 1	
日本語 1 B	1・2前		1				兼 1	
日本語 2 A	1・2後		1				兼 1	
日本語 2 B	1・2後		1				兼 1	
情報リテラシー a	1・2・3・4前	2					兼 1	
情報リテラシー b	1・2・3・4後	2					兼 1	
言語学 1	1・2・3・4前		2				兼 1	
言語学 2	1・2・3・4後		2				兼 1	
言葉の思想	1・2・3・4前		2				兼 1	
								平成31年度以降担当教員退職のため 担当者変更(29) (削除)村井 則夫(兼任) (追加)後任未定
科学コミュニケーション論	1・2・3・4前		2				兼 1	
映画と音楽で学ぶ英語	1・2・3・4前		2				兼 1	
異文化体験	1・2・3・4前		2				兼 1	
異文化で学ぶ英語	1・2・3・4後		2				兼 1	
外国語（英語） 3 A	2・3前		1				兼 5	
外国語（英語） 3 B	2・3前		1				兼 5	
外国語（英語） 4 A	2・3後		1				兼 5	
外国語（英語） 4 B	2・3後		1				兼 5	
外国語（ドイツ語） 3 A	2・3前		1				兼 1	
外国語（ドイツ語） 3 B	2・3前		1				兼 1	
外国語（ドイツ語） 4 A	2・3後		1				兼 1	
外国語（ドイツ語） 4 B	2・3後		1				兼 1	
外国語（フランス語） 3 A	2・3前		1				兼 1	
外国語（フランス語） 3 B	2・3前		1				兼 1	
外国語（フランス語） 4 A	2・3後		1				兼 1	
外国語（フランス語） 4 B	2・3後		1				兼 1	
外国語（中国語） 3 A	2・3前		1				兼 1	
外国語（中国語） 3 B	2・3前		1				兼 1	
外国語（中国語） 4 A	2・3後		1				兼 1	
外国語（中国語） 4 B	2・3後		1				兼 1	
外国語（韓国語） 3 A	2・3前		1				兼 1	
外国語（韓国語） 3 B	2・3前		1				兼 1	
外国語（韓国語） 4 A	2・3後		1				兼 1	
外国語（韓国語） 4 B	2・3後		1				兼 1	
日本語 3 A	2・3前		1				兼 1	
日本語 3 B	2・3前		1				兼 1	
日本語 4 A	2・3後		1				兼 1	
日本語 4 B	2・3後		1				兼 1	

上級英語 1	3・4前	1				兼 1	
上級英語 2	3・4後	1				兼 1	
上級ドイツ語 1	3・4前	1				兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 後任未定
上級ドイツ語 2	3・4後	1				兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 後任未定
上級フランス語 1	3・4前	1				兼 1	
上級フランス語 2	3・4後	1				兼 1	
上級中国語 1	3・4前	1				兼 1	
上級中国語 2	3・4後	1				兼 1	
上級韓国語 1	3・4前	1				兼 1	
上級韓国語 2	3・4後	1				兼 1	
上級英語 3	4前	1				兼 1	
上級英語 4	4後	1				兼 1	
上級ドイツ語 3	4前	1				兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 後任未定
上級ドイツ語 4	4後	1				兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 村井 則夫 (兼任) (追加) 後任未定
上級フランス語 3	4前	1				兼 1	
上級フランス語 4	4後	1				兼 1	
上級中国語 3	4前	1				兼 1	
上級中国語 4	4後	1				兼 1	
上級韓国語 3	4前	1				兼 1	
上級韓国語 4	4後	1				兼 1	
日本事情 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
日本事情 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
外国事情 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
外国事情 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
日本の文学 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
日本の文学 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
外国の文学 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
外国の文学 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
文化人類学 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
文化人類学 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
人文科学論 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
人文科学論 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
日本史 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
日本史 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
西洋の歴史と文化 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
西洋の歴史と文化 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
中国の歴史と文化 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
中国の歴史と文化 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
考古学 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
考古学 2	1・2・3・4後	2				兼 1	
日本の芸能 1	1・2・3・4前	2				兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 倉持 長子 (兼任) (追加) 井上 愛 (兼任)
日本の芸能 2	1・2・3・4後	2				兼 1	前任教員退職のため担当者変更(29) (削除) 倉持 長子 (兼任) (追加) 井上 愛 (兼任)
日本民俗学 1	1・2・3・4前	2				兼 1	
日本民俗学 2	1・2・3・4後	2				兼 1	

自然科学史	1・2・3・4前	2							兼 1
図像学	1・2・3・4前	2							兼 1
人文科学論 3	2・3・4前	2							兼 1
人文科学論 4	2・3・4後	2							兼 1
日本史 3	2・3・4前	2							兼 1
日本史 4	2・3・4後	2							兼 1
社会の仕組みと人間の営み 1	1・2・3・4前	2							兼 1
社会の仕組みと人間の営み 2	1・2・3・4後	2							兼 1
法学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
法学 2 (日本国憲法)	1・2・3・4後	2							兼 1
現代政治を読み解く 1	1・2・3・4前	2							兼 1
現代政治を読み解く 2	1・2・3・4後	2							兼 1
社会科学論 1	1・2・3・4前	2							兼 1
社会科学論 2	1・2・3・4後	2							兼 1
国際関係論 1	1・2・3・4前	2							兼 1
国際関係論 2	1・2・3・4後	2							兼 1
21世紀経済への視点 1	1・2・3・4前	2							兼 1
21世紀経済への視点 2	1・2・3・4後	2							兼 1
グローバル時代の経営 1	1・2・3・4前	2							兼 1
グローバル時代の経営 2	1・2・3・4後	2							兼 1
情報社会文化論 1	1・2・3・4前	2							兼 1
情報社会文化論 2	1・2・3・4後	2							兼 1
生涯学習論 1	1・2・3・4前	2							兼 1
生涯学習論 2	1・2・3・4後	2							兼 1
図書館の基礎と展望	1・2・3・4前	2							兼 1
社会に生きる私たちの人権	1・2・3・4前	2							兼 1
女性の生き方	1・2・3・4後	2							兼 1
地図を読む	1・2・3・4前	2							兼 1
ボランティア論	1・2・3・4前・後	2							兼 1
情報法制論	2・3・4前	2							兼 1
地球惑星学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
地球惑星学 2	1・2・3・4後	2							兼 1
科学技術論 1	1・2・3・4前	2							兼 1
科学技術論 2	1・2・3・4後	2							兼 1
統計学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
統計学 2	1・2・3・4後	2							兼 1
基礎数学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
基礎数学 2	1・2・3・4後	2							兼 1
生物学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
生物学 2	1・2・3・4後	2							兼 1
物理学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
物理学 2	1・2・3・4後	2							兼 1
化学 1	1・2・3・4前	2							兼 1
化学 2	1・2・3・4後	2							兼 1
自然科学入門 1	1・2・3・4前	2							兼 1
自然科学入門 2	1・2・3・4後	2							兼 1
生物学 3	2・3・4前	2							兼 1
生物学 4	2・3・4後	2							兼 1
人類と環境	2・3・4前	2							兼 1
特別講義 1	1・2・3・4前	2							兼 1
特別講義 2	1・2・3・4前	1							兼 1
特別講義 3	1・2・3・4後	2							兼 1
特別講義 4	1・2・3・4後	1							兼 1
全学的・社会的・職業的自立促進科目	自立と体験 3	2後			2				兼 3
	自立と体験 4	3前			2				兼 3
	ボランティア実践 1	2前			1				兼 1
	ボランティア実践 2	2後			1				兼 1
	キャリアデザイン 1	1後			2				兼 2
キャリアデザイン 2	2後			2				兼 1	

学科科目	自立と体験2	1後	2			7	4		1			
	心理学概論A	1前・後	2						1			
	心理学概論B	1前・後	2			1						
	心理統計法1	1前	2				1			兼5		
	心理統計法2	1後	2				1			兼5		
	心理学研究法	1前・後	2			4	1				オムニバス	
	心理学実験法	2前・後	2			1				兼4		
	心理学実験法実習	2前・後	2			1				兼4		
	心理学検査法	2前・後	2							兼6		
	心理学検査法実習	2前・後	2							兼6		
	比較心理学	1前・後		2			1					
	産業心理学	1前・後		2			1					
	児童心理学	1前・後		2						兼1		
	障害児(者)心理学	1前・後		2			1					
	基礎臨床心理学	1前・後		2		1						
	性格心理学	1前・後		2						兼1		
						+						
												教員間の負担格差解消のため担当者変更(29) (削除)石井 雄吉(専任) (追加)黒岩 誠(兼任)
	知覚心理学	2前・後		2		1						
	学習心理学	2前・後		2					1			
	神経心理学	2前・後		2		1						
	社会心理学	2前・後		2		1						
	青年心理学	2前・後		2		1						
	生涯発達心理学	2前・後		2		1						
	発達臨床心理学	2前・後		2		1						
	学校臨床心理学	2前・後		2			1					
	聴覚心理学	3前		2		1						
	運動視知覚心理学	3後		2						兼1		
	実験的行動分析学	3前		2					1			
	比較認知科学	3後		2			1					
	認知神経心理学	3前		2		1						
	臨床神経心理学	3後		2						兼1		
	社会的認知論	3前		2		1						
	社会行動論	3後		2						兼1		
	消費者行動論	3前		2			1					
	組織心理学	3後		2						兼1		
	心理学調査法	3前		2		1				兼3		
	人間関係発達論	3前		2						兼1		
	カウンセリング技法論	3前		2		1						
	カウンセリング実践論	3後		2						兼1		
	認知行動療法技法論	3前		2			1					
	認知行動療法実践論	3後		2						兼1		
	犯罪心理学	3前		2						兼1		
	性格心理学実践論	3前		2						兼1		
	心理臨床支援技法論	3前		2		1						
	こども心理療法論	3後		2						兼1		
	応用行動分析学	3前		2			1					
	社会環境行動論	3後		2						兼1		
	発達障害児教育論	3後		2		1						
	発達障害者自立支援論	3後		2		1						
	心理面接実習	3前・後		2						兼3		
	臨床心理学概論	3前		2		3	2				オムニバス	
	精神医学概論	3後		2						兼1		
	心理臨床・実践職能論	3後		2		1	1					
	心理学で拓くキャリア	3前		2		1	1					
	専門演習1A	3前	1			7	4		1			
	専門演習1B	3後	1			7	4		1			
	専門演習2A	4前	1			7	4		1			

専門演習2B	4後	1		7	4	1			
卒業研究	4通	8		7	4	1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 20	科目 219	科目 6	科目 245	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{245} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	197,697㎡	0㎡	0㎡	197,697㎡	・日野校
		683,812㎡	0㎡	0㎡	683,812㎡	・青梅校
	運 動 場 用 地	74,314㎡	0㎡	0㎡	74,314㎡	・日野校
		94,320㎡	0㎡	0㎡	94,320㎡	・青梅校
	小 計	272,011㎡	0㎡	0㎡	272,011㎡	・日野校
		778,132㎡	0㎡	0㎡	778,132㎡	・青梅校
	そ の 他	17,243㎡	0㎡	0㎡	17,243㎡	・日野校
18,621㎡		0㎡	0㎡	18,621㎡	・青梅校	
合 計	1,086,007㎡	0㎡	0㎡	1,086,007㎡	大学全体	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	179,251㎡ (179,251㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	179,251㎡ (179,251㎡)	・日野校	
	32,714㎡ (32,714㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	32,714㎡ (32,714㎡)	・青梅校	
	211,965㎡ (211,965㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	211,965㎡ (211,965㎡)	大学全体	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	92室	229室 179室	244室 231室	19室 (補助職員6人)	1室 2室 (補助職員2人)	・日野校 教室等の用途の見直し及び変更による増減(29)
	23室	8室	36室	1室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)	・青梅校
	115室	237室 187室	280室 267室	20室 (補助職員6人)	1室 2室 (補助職員2人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		
	心理学部 心理学科			13 室		

(5)	図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	(図書、学術雑誌) 図書、学術雑誌ともに重複タイトルの見直しを含めて資料を精選した結果、当初予定数値より減少。(29) 大学全体での共用分 図書：870,513冊 〔279,861冊〕 学術雑誌：11,751種 〔11,108種〕
		心理学部 心理学科	25,600 [5,150] (23,870 [5,089]) -(24,000 [5,100])	647 [545] (623 [521]) -(647 [545])	261 [261] (249 [249]) -(261 [261])	85 (92) -(75)	1,100 (1,109) -(1,100)	2 (3) -(2)	
		計	25,600 [5,150] (23,870 [5,089]) -(24,000 [5,100])	647 [545] (623 [521]) -(647 [545])	261 [261] (249 [249]) -(261 [261])	85 (92) -(75)	1,100 (1,109) -(1,100)	2 (3) -(2)	
(6)	図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		(収納可能冊数) 資料図書館開館に伴う増加 (29)		
		16,865 m ²	847 席		1,562,200 冊 1,526,000 冊				
		合計	847 席		1,562,200 冊 1,526,000 冊				
(7)	体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					・日野校 ・青梅校 大学全体	
		8,006m ²	野球場、テニスコート						
		4,928m ²	野球場、テニスコート						
近年は	合計	12,934m ²							
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は 大学全体
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	45,000千円	45,000千円	45,000千円	
		共同研究費等	40,000千円	40,000千円	設備購入費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	図書購入費には電子 ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を 含む 設備購入費は大学全体
		学生1人当り 納付金	第1年次 1,400千円	第2年次 1,150千円	第3年次 1,150千円	第4年次 1,150千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入及び私立大学等経常経費補助金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	明星大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
理工学部						1.00		東京都日野市 程久保2丁目 1番地1	
総合理工学科	4	400	—	1,600	学士(理学) 学士(工学)	1.00	平成22年度		
化学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	昭和39年度		平成22年4月より 学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成17年度		(化学科・機械システム工 学科・環境システム学科)
環境システム学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成17年度		
人文学部						1.13			
国際コミュニケーション学科	4	100	—	400	学士(国際コ ミュニケーション学)	1.21	平成17年度		
人間社会学科	4	80	—	320	学士(社会学)	1.09	昭和40年度		
心理学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	平成22年度		平成29年4月より 学生募集停止 (心理学科)
日本文化学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.13	平成22年度		
福祉実践学科	4	60	—	240	学士(社会福祉 学)	1.06	平成22年度		
心理・教育学科	4	—	—	—	学士(心理学) 学士(教育学)	—	昭和40年度		平成22年4月より 学生募集停止 (心理・教育学科)
経済学部						1.08			
経済学科	4	260	—	1,160	学士(経済学)	1.08	平成13年度		平成29年4月より 入学定員変更(経済学科 300→260)
経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	平成17年度		平成24年4月より 学生募集停止 (経営学科)
情報学部						1.06			
情報学科	4	140	—	560	学士(情報)	1.06	平成17年度		平成26年4月より 入学定員変更(情報学科 170→140)
日本文化学部						—			
言語文化学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成4年度		平成22年4月より 学生募集停止 (日本文化学部言語文化学 科)
造形芸術学部						—			
造形芸術学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成17年度		平成26年4月より 学生募集停止(造形芸術学 部造形芸術学科)
教育学部						1.19			
教育学科	4	350	—	1,310	学士(教育学)	1.19	平成22年度		平成29年4月より 入学定員変更(教育学科 320→350)

経営学部						1.08		
経営学科	4	200	—	800	学士(経営学)	1.08	平成24年度	
デザイン学部						1.06		
デザイン学科	4	120	—	480	学士(デザイン学)	1.06	平成26年度	
心理学部						1.16		
心理学科	4	120	—	120	学士(心理学)	1.16	平成29年度	
(通信教育部)								
教育学部						0.05		
教育学科 (通信課程)	4	2,000	—	8,000	学士(教育学)	0.05	平成22年度	
人文学部						—		
心理・教育学科 (通信課程)	4	—	—	—	学士(教育学)	—	昭和42年度	平成22年4月より 学生募集停止 (人文学部心理・教育学科 通信課程)
(大学院)								
理工学研究科						0.47		東京都日野市 程久保2丁目 1番地1
(博士前期課程)								
物理学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	0.25	昭和54年度	
化学専攻	2	10	—	20	修士(理学)	1.05	昭和48年度	
機械工学専攻	2	10	—	20	修士(工学)	0.30	昭和55年度	
電気工学専攻	2	10	—	20	修士(工学)	0.15	昭和54年度	
建築・建設工学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.40	平成20年度	
環境システム学専攻	2	5	—	10	修士(工学)	0.80	平成20年度	
(博士後期課程)						0.06		
物理学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.06	昭和56年度	
化学専攻	3	5	—	15	博士(理学)	0.26	昭和51年度	
機械工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.00	昭和57年度	
電気工学専攻	3	5	—	15	博士(工学)	0.00	昭和56年度	
建築・建設工学専攻	3	3	—	9	博士(工学)	0.00	平成20年度	
環境システム学専攻	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成20年度	
人文学研究科						0.46		
(博士前期課程)								
英米文学専攻	2	10	—	20	修士(英米文学)	0.40	昭和58年度	
社会学専攻	2	10	—	20	修士(社会学)	0.05	昭和46年度	
心理学専攻	2	10	—	20	修士(心理学)	0.95	昭和49年度	
教育学専攻	2	—	—	—	修士(教育学)	—	昭和47年度	平成26年4月より学生募 集停止 (教育学専攻)
(博士後期課程)						0.22		
英米文学専攻	3	3	—	9	博士(英米文学)	0.11	昭和63年度	
社会学専攻	3	3	—	9	博士(社会学)	0.11	昭和51年度	

心理学専攻	3	3	—	9	博士(心理学)	0.44	昭和53年度	
教育学専攻	3	—	—	—	博士(教育学)	—	昭和49年度	
経済学研究科 (修士課程)						0.25		
応用経済学専攻	2	10	—	20	修士(応用経済学)	0.25	平成18年度	
情報学研究科 (博士前期課程)						0.56		
情報学専攻	2	7	—	14	修士(情報学)	0.56	平成10年度	
(博士後期課程)						0.22		
情報学専攻	3	3	—	9	博士(情報学)	0.22	平成12年度	
教育学研究科 (博士前期課程)						0.10		
教育学専攻	2	10	—	20	修士(教育学)	0.10	平成26年度	
(博士後期課程)						0.11		
教育学専攻	3	3	—	9	博士(教育学)	0.11	平成26年度	
(通信制大学院) 教育学研究科 (博士前期課程)						0.64		平成26年4月より人文学 研究科教育学専攻を教 育学研究科へ名称変更 (教育学専攻通信課程)
教育学専攻(通信課程)	2	30	—	60	修士(教育学)	0.64	平成11年度	
(博士後期課程)						1.10		
教育学専攻(通信課程)	3	3	—	9	博士(教育学)	1.10	平成18年度	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	サカイ アツシ 境 敦史 (55)	平成29年4月	自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 知覚心理学 聴知覚心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	兼任	教授	鈴木 浩子 (56)	平成29年4月	自立と体験1	教員間の負担格差解消のため 担当者変更(29)
専	教授	イシイ タカヨシ 石井 雄吉 (62)	平成29年4月	自立と体験2 心理学研究法※ 基礎臨床心理学 性格心理学 心理臨床支援技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究	兼任	教授	黒岩 誠 (69)	平成29年4月	性格心理学	教員間の負担格差解消のため 担当者変更(29)
専	教授	オカバヤシ ヒデキ 岡林 秀樹 (52)	平成29年4月	自立と体験2 心理学研究法※ 生涯発達心理学 心理学調査法 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						
専	教授	コヌキ サトル 小貫 悟 (49)	平成29年4月	自立と体験2 発達臨床心理学 発達障害児教育論 発達障害者自立支援論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						

専	教授	シバサキ ミツヨ 柴崎 光世 (46)	平成29年4月	自立と体験2 心理学概論B 神経心理学 認知神経心理学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						
専	教授	ハヤシ ミキヤ 林 幹也 (41)	平成29年4月	自立と体験2 心理学実験法 心理学実験法実習 社会心理学 社会的認知論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						
専	教授	フクダ ノリアキ 福田 憲明 (57)	平成29年4月	自立と体験1 自立と体験2 心理学研究法※ 青年心理学 カウンセリング技法論 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						
専	准教授	オノ ヒロミ 尾野 裕美 (41)	平成29年4月	自立と体験2 産業心理学 消費者行動論 心理学で拓くキャリア 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						
専	准教授	タケウチ コウジ 竹内 康二 (39)	平成29年4月	自立と体験2 心理学研究法※ 障害児(者)心理学 応用行動分析学 臨床心理学概論※ 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						
専	准教授	チノ カズホ 茅野 一穂 (54)	平成29年4月	自立と体験2 心理統計法1 心理統計法2 比較心理学 比較認知科学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究						

専	准教授	フジイ ヤスシ 藤井 靖 (38)	平成29年4月	自立と体験2 学校臨床心理学 認知行動療法技法論 臨床心理学概論※ 心理臨床・実践職能論 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究								
専	助教	タンノ タカユキ 丹野 貴行 (37)	平成29年4月	自立と体験2 心理学概論A 学習心理学 実験的行動分析学 専門演習1A 専門演習1B 専門演習2A 専門演習2B 卒業研究								
兼担	教授	イマフク カズヒサ 今福 一寿 (58)	平成29年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4								
兼担	教授	エノモト タツオ 榎本 立雄 (64)	平成29年4月	情報リテラシーa 情報リテラシーb								
兼担	教授	カタヤマ フミヤス 片山 文保 (66)	平成29年4月	哲学2 哲学4 思想への招待 外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B 外国語(フランス語)3B 外国語(フランス語)4B 上級フランス語3 上級フランス語4 外国の文学1 外国の文学2	兼任 講師 兼任 講師	能登 省二 (58) 能登 省二 (58)	平成29年4月 平成29年4月	外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B	教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)			
兼担	教授	カネコ ケイジ 金子 敬二 (63)	平成29年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4								
兼担	教授	カネコ ヨシユキ 金子 慶之 (51)	平成29年4月	地球惑星学2								
兼担	教授	カミヤマ タカアキ 神山 敬章 (65)	平成29年4月	生涯学習論1 生涯学習論2								
兼担	教授	キクチ シゲオ 菊地 滋夫 (51)	平成29年4月	文化人類学1 文化人類学2								
兼担	教授	キヨタ ヨウイチ 清田 洋一 (61)	平成29年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A								
兼担	教授	コウチヤマ アキコ 河内山 晶子 (60)	平成29年4月	映画と音楽で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 特別講義1								

兼担	教授	コバヤシ カズタケ 小林 一岳 (59)	平成29年4月	人文科学論1 日本史1						
兼担	教授	シノヤマ ヒロフミ 篠山 浩文 (56)	平成29年4月	科学コミュニケーション論 生物学1 生物学4 人類と環境						
兼担	教授	ジャン イングルスルード J. イングルスルード (63)	平成29年4月	言語学1 言語学2 異文化体験 外国事情1 人文科学論4						
兼担	教授	スズキ トキオ 鈴木 時男 (60)	平成29年4月	外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 21世紀経済への視点1 21世紀経済への視点2 特別講義2 特別講義3 特別講義4						
兼担	教授	セイミヤ ヨシヒロ 清宮 義博 (66)	平成29年4月	科学技術論1 科学技術論2						
兼担	教授	ツカダ シンイチ 塚田 真一 (47)	平成29年4月	統計学1 統計学2						
兼担	教授	トガシ シン 富樫 伸 (61)	平成29年4月	生物学2 生物学3						
兼担	教授	ニシムラ ミカ 西村 美香 (56)	平成29年4月	美学1 美学2 美学3 美学4						
兼担	教授	ニムラ ケン 二村 健 (63)	平成29年4月	情報社会文化論1 情報社会文化論2 図書館の基礎と展望						
兼担	教授	ハヤシ シンイチロウ 林 伸一郎 (56)	平成29年4月	宗教学1 宗教学2 上級フランス語1 上級フランス語2 人文科学論3						前任教員退職のため担当者変更(29)
兼担	教授	ハヤシ ユウスケ 林 雄介 (54)	平成29年4月	外国語(韓国語)1A 外国語(韓国語)1B 外国語(韓国語)2A 外国語(韓国語)2B 上級韓国語1 上級韓国語2 日本史2						
兼担	教授	ハラダ ヒサシ 原田 久志 (66)	平成29年4月	化学1						
兼担	教授	ヒデムラ ケンジ 秀村 研二 (61)	平成29年4月	外国語(韓国語)3B 人文科学論2						
兼担	教授	フカサワ キヨシ 深澤 清 (55)	平成29年4月	外国語(英語)2A 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A 地図を読む						

兼担	教授	ポール ロバートソン P. E. ロバートソン (68)	平成29年4月	異文化体験						
兼担	教授	マルヤマ マサヨシ 丸山 正義 (68)	平成29年4月	外国の文学1 外国の文学2 人文科学論3						
兼担	教授	ムライ ノリオ 村井 則夫 (54)	平成29年4月	哲学1 哲学3 倫理学4 言葉の思想 上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 上級ドイツ語3 上級ドイツ語4	兼担 准教授 兼担 准教授	浜野 喬士 (40) 浜野 喬士 (41) 後任未定 後任未定 後任未定 後任未定 後任未定	平成29年4月 平成30年4月	哲学1 哲学3 倫理学4 言葉の思想 上級ドイツ語1 上級ドイツ語2 上級ドイツ語3 上級ドイツ語4	前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職。開講時までに後任配置予定(29) 前任教員退職。開講時までに後任配置予定(29) 前任教員退職。開講時までに後任配置予定(29) 前任教員退職。開講時までに後任配置予定(29) 前任教員退職。開講時までに後任配置予定(29) 前任教員退職。開講時までに後任配置予定(29)	
兼担	教授	ムラオカ ヨシホ 村岡 慈歩 (47)	平成29年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4						
兼担	教授	ヤマシタ ヨシアキ 山下 善明 (68)	平成29年4月	美学1 倫理学4 美学4 言葉の思想 女性の生き方						
兼担	教授	ヤマモト ヨウコ 山本 陽子 (62)	平成29年4月	図像学						
兼担	教授	ヨシカワ エイイチ 吉川 榮一 (61)	平成30年4月	外国語(中国語)3日 外国語(中国語)4日 上級中国語3 上級中国語4 女性の生き方						
兼担	准教授	アサイ マサユキ 浅井 正行 (49)	平成30年4月	ボランティア実践1 ボランティア実践2	兼担 教授	浅井 正行 (49)				職位変更(29)
兼担	准教授	ウエダ コウゾウ 上田 耕造 (38)	平成29年4月	西洋の歴史と文化1 西洋の歴史と文化2						
兼担	准教授	ウチダ トミオ 内田 富男 (56)	平成29年4月	外国語(英語)1A						
兼担	准教授	エノモト タツヒコ 榎本 達彦 (64)	平成29年4月	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン2	兼担 教授	榎本 達彦 (64)				職位変更(29)
兼担	准教授	キム キョンブン 金 庚芬 (46)	平成29年4月	外国語(韓国語)4日 上級韓国語3 上級韓国語4 外国事情2						
兼担	准教授	スズキ ヒロコ 鈴木 浩子 (56)	平成29年4月	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1	兼担 教授	鈴木 浩子 (56)				職位変更(29) 自立と体験1 教員間の負担格差解消のため担当者変更(29)

兼担	准教授	タイラー パーデン T. パーデン (45)	平成29年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B 上級英語1 上級英語2 上級英語3 上級英語4						
兼担	准教授	タカハシ ナミコ 高橋 南海子 (48)	平成29年4月	自立と体験3 自立と体験4 キャリアデザイン1						
兼担	准教授	フジワラ アイ 藤原 愛 (41)	平成29年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A 異文化で学ぶ英語 外国語(英語)3A 外国語(英語)4A						
兼担	准教授	ミヤムラ ノリヒデ 宮村 典秀 (39)	平成29年4月	物理学1 物理学2						
兼担	准教授	ヤマザキ アイ 山崎 藍 (39)	平成29年4月	外国語(中国語)1B 外国語(中国語)2B 上級中国語1 上級中国語2						
兼担	准教授	ヤマザキ モトヤス 山崎 元泰 (45)	平成29年4月	現代政治を読み解く1 現代政治を読み解く2 社会科学論1 社会科学論2 国際関係論1 国際関係論2	兼担	教授	山崎 元泰 (45)			職位変更(29)
兼担	講師	エヴリン ボーバン E. ボーバン (26)	平成29年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B						
兼担	講師	ジェームス ブライア J. ブライア (52)	平成29年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B 外国語(英語)3B 外国語(英語)4B						
兼担	講師	ジョーイ トレヴィス デボノジョ G. O. アデボノジョ (28)	平成29年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B	兼担	講師	D. シュミッド (26)	平成29年4月	外国語(英語)1B	前任教員退職のため担当者変更(29)
					兼担	講師	D. シュミッド (26)	平成29年4月	外国語(英語)2B	前任教員退職のため担当者変更(29)
兼担	講師	ダーモット ロナーガン D. ロナーガン (29)	平成29年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B						
兼担	講師	デイヴィッド アンソリウワー アイザックス D. A. アイザックス (52)	平成30年4月	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B						
兼担	講師	ミッシェル メネギーニ M. メネギーニ (53)	平成30年4月	外国語(英語)3B 外国語(英語)4B						
兼担	助教	サカモト タクヤ 坂本 拓弥 (30)	平成29年4月	健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4	兼担	准教授	坂本 拓弥 (30)			職位変更(29)
兼任	講師	アオキ カツノリ 青木 克憲 (60)	平成29年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A						

兼任	講師	アオヤギ コウスケ 青柳 宏亮 (34)	平成31年4月	こども心理療法論 心理面接実習						
兼任	講師	アンドウ ミチオ 安藤 道夫 (49)	平成29年4月	論理学1 論理学2						
兼任	講師	イイダ シゲル 飯田 茂 (58)	平成31年4月	精神医学概論						
兼任	講師	イガラシ マサトシ 五十嵐 正敏 (55)	平成29年4月	化学2 自然科学入門1 自然科学入門2						
兼任	講師	イシカワ マサヒロ 石川 正弘 (50)	平成29年4月	地球惑星学1						
兼任	講師	イデノ タカシ 井出野 尚 (56)	平成31年4月	社会行動論						
兼任	講師	イトウ キョウコ 伊藤 教子 (45)	平成29年4月	心理学1 心理学2 心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法						
兼任	講師	イワクマ ミチヒロ 岩隈 道洋 (43)	平成30年4月	情報法制論						
兼任	講師	ウガイ マサシ 鵜飼 政志 (52)	平成30年4月	日本史3 日本史4						
兼任	講師	ウメヒラ セツコ 梅比良 節子 (63)	平成30年4月	外国語(フランス語)3A 外国語(フランス語)4A						
兼任	講師	エダミ タロウ 枝見 太郎 (59)	平成29年4月	ボランティア論						
兼任	講師	オウ ズライ 王 瑞来 (60)	平成29年4月	中国の歴史と文化1 中国の歴史と文化2						
兼任	講師	オオイ ナオコ 大井 直子 (67)	平成29年4月	心理統計法1 心理統計法2						
兼任	講師	オオノ ユウジ 大野 祐二 (54)	平成30年4月	外国語(韓国語)3A 外国語(韓国語)4A						
兼任	講師	オオハン トモ 大橋 智 (38)	平成29年4月	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法						
兼任	講師	オオマガリ ヨウコ 大曲 陽子 (57)	平成29年4月	外国語(英語)1A 外国語(英語)2A						
兼任	講師	オカダ アズサ 岡田 あずさ (36)	平成30年4月	心理学検査法 心理学検査法実習 心理面接実習						
兼任	講師	カク テイ 郭 テイ (52)	平成30年4月	外国語(中国語)3A 外国語(中国語)4A						

兼任	講師	クラモチ ナガコ 倉持 長子 (35)	平成29年4月	日本の芸能1 日本の芸能2	兼任 兼任	講師 講師	井上 愛 (34) 井上 愛 (34)	平成29年4月 平成29年4月	日本の芸能1 日本の芸能2	前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職のため担当者変更(29)
兼任	講師	クワハラ マサノブ 桑原 正修 (41)	平成30年4月	心理学検査法 心理学検査法実習						
兼任	講師	コノ マサノリ 古野 公紀 (38)	平成30年4月	心理学実験法 心理学実験法実習						
兼任	講師	コハラ ケンイチロウ 小原 健一郎 (35)	平成29年4月	心理統計法1 心理統計法2 心理学調査法						
兼任	講師	コマツ ヒデミ 小松 英海 (49)	平成30年4月	心理学実験法 心理学実験法実習 運動視知覚心理学						
兼任	講師	サイトウ カズオ 齋藤 和夫 (64)	平成29年4月	法学1 法学2(日本国憲法)						
兼任	講師	サイトウ マサノリ 齋藤 政則 (51)	平成29年4月	自然科学史						
兼任	講師	ササキ アキノリ 佐々木 昭則 (52)	平成29年4月	倫理学1 倫理学2 倫理学3						
兼任	講師	サトウ コウヘイ 佐藤 耕平 (41)	平成29年4月	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4						
兼任	講師	スガサワラ ヒロシ 菅佐原 洋 (44)	平成31年4月	社会環境行動論						
兼任	講師	スズキ キヨシゲ 鈴木 清重 (46)	平成30年4月	心理学実験法 心理学実験法実習						
兼任	講師	スズキ タカオ 鈴木 敬生 (39)	平成31年4月	認知行動療法実践論						
兼任	講師	セトヤマ アキコ 瀬戸山 聡子 (54)	平成31年4月	組織心理学						
兼任	講師	ハヤタ マサト 早田 雅人 (54)	平成29年4月	外国語(ドイツ語)3A 外国語(ドイツ語)3B 外国語(ドイツ語)4A 外国語(ドイツ語)4B						
兼任	講師	タカミ ケンイチ 高見 研一 (56)	平成29年4月	日本語1A 日本語1B 日本語2A 日本語2B						
兼任	講師	タキモト ジュンコ 滝本 順子 (43)	平成29年4月	社会の仕組みと人間の営み1 社会の仕組みと人間の営み2						
兼任	講師	タケウチ マサアキ 竹内 雅明 (29)	平成29年4月	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4						

兼任	講師	タケダ サトコ 武田 里子 (60)	平成29年4月	社会に生きる私たちの人権							
兼任	講師	タツカワ タイガ 立川 大雅 (30)	平成30年4月	心理学実験法 心理学実験法実習							
兼任	講師	タナカ トウジ 田中 藤司 (50)	平成29年4月	日本民俗学1 日本民俗学2							
兼任	講師	タブチ ナオコ 田淵 尚子 (36)	平成31年4月	カウンセリング実践論 心理面接実習							
兼任	講師	ツカコシ アツコ 塚越 敦子 (61)	平成29年4月	外国語(フランス語)1A	兼任	教授	林 伸一郎 (56)	平成29年4月	外国語(フランス語)1A	前任教員退職のため担当者変更(29)	
兼任	講師	ツカモト マサシ 塚本 匡 (31)	平成30年4月	心理学検査法 心理学検査法実習							
兼任	講師	トウ タンリ 董 丹犁 (56)	平成29年4月	外国語(中国語)1A 外国語(中国語)2A							
兼任	講師	トヤマ トモコ 外山 知子 (60)	平成29年4月	外国語(ドイツ語)1A 外国語(ドイツ語)1B 外国語(ドイツ語)2A 外国語(ドイツ語)2B							
兼任	講師	ナカシマ ユウスケ 中島 悠介 (29)	平成30年4月	心理学検査法 心理学検査法実習							
兼任	講師	ナカムラ ユウ 中村 有 (42)	平成30年4月	心理学検査法 心理学検査法実習 性格心理学実践論							
兼任	講師	ナトリ シュウイチ 名取 修一 (63)	平成29年4月	グローバル時代の経営1 グローバル時代の経営2							
兼任	講師	ノト ショウジ 能登 省二 (58)	平成29年4月	外国語(フランス語)2A					外国語(フランス語)1B 外国語(フランス語)2B	教育効果向上のため担当者変更(29) 教育効果向上のため担当者変更(29)	
兼任	講師	ハヤシ トオル 林 徹 (58)	平成29年4月	考古学1 考古学2							
兼任	講師	ハヤシ ミキオ 林 幹夫 (67)	平成29年4月	教育学1 教育学2							
兼任	講師	ヒキタ マサアキ 疋田 雅昭 (46)	平成29年4月	日本の文学1 日本の文学2							
兼任	講師	マツオカ ケイコ 松岡 恵子 (47)	平成29年4月	臨床神経心理学							
兼任	講師	ミハラ ダイスケ 三原 大介 (55)	平成29年4月	健康・スポーツ科学論 健康・スポーツ演習1 健康・スポーツ演習2 健康・スポーツ演習3 健康・スポーツ演習4							

兼任	講師	モリオカ チエコ 森岡 千枝子 (61)	平成29年4月	日本語3A 日本語3B 日本語4A 日本語4B 日本事情1 日本事情2						
兼任	講師	ヤシロ サエコ 矢代 佐枝子 (43)	平成29年4月	心理統計法1 心理統計法2 児童心理学 人間関係発達論						
兼任	講師	ヤト ミツアキ 谷戸 光昭 (42)	平成29年4月	基礎数学1 基礎数学2						
兼任	講師	ユタニ モトキ 油谷 元規 (35)	平成30年4月	心理学検査法 心理学検査法実習						
兼任	講師	ヨシナガ チエコ 吉永 千恵子 (54)	平成31年4月	犯罪心理学						
					兼任	教授	黒岩 誠 (69)	平成29年4月	性格心理学	教員間の負担格差解消のため 担当者変更(29)
					兼任	准教授	浜野 喬士 (40)	平成29年4月	哲学1 哲学3	前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職のため担当者変更(29)
					兼任	講師	D. シュミッド (26)	平成29年4月	外国語(英語)1B 外国語(英語)2B	前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職のため担当者変更(29)
					兼任	講師	井上 愛 (34)	平成29年4月	日本の芸能1 日本の芸能2	前任教員退職のため担当者変更(29) 前任教員退職のため担当者変更(29)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	4	0	1	12	7	4	0	1	12	7	4	0	1	12
(7)	(4)	(0)	(1)	(12)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65又は70 (着任時期により異なる)	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1		該当なし	必修		①		
			選択		②		
			必修		③		
2		該当なし	自由		②		
			必修		③		
			必修		①		
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし	必修		①		
			選択		②		
			必修		③		
2		該当なし	自由		②		
			必修		③		
			必修		①		
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)		後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成19年度より学長の諮問委員会として「全学FD委員会」を設け、全学的FD活動の実施や部局別FD活動の指針となる全学的基本方針を策定するなど、全学をあげて組織的な取り組みを行ってきた。平成21年度より「明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程」（別紙1）を制定し、「全学FD委員会」及び「部局別FD委員会」の役割を明確にした。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成25年度の開催状況

・ 第1回全学FD委員会	平成25年 5月22日(水)	教員参加人数10名
・ 第2回全学FD委員会	平成25年 6月 6日(木)	教員参加人数12名
・ 第3回全学FD委員会	平成25年 7月 4日(木)	教員参加人数12名
・ 第4回全学FD委員会	平成25年 9月 5日(木)	教員参加人数11名
・ 第5回全学FD委員会	平成25年10月 3日(木)	教員参加人数12名
・ 第6回全学FD委員会	平成25年11月 7日(木)	教員参加人数12名
・ 第7回全学FD委員会	平成25年12月 5日(木)	教員参加人数10名
・ 第8回全学FD委員会	平成25年 1月 9日(木)	教員参加人数10名
・ 第9回全学FD委員会	平成26年 2月 6日(木)	教員参加人数12名
・ 第10回全学FD委員会	平成26年 2月25日(木)	教員参加人数12名

平成26年度の開催状況

・ 第1回全学FD委員会	平成26年 5月14日(水)	教員参加人数10名
・ 第2回全学FD委員会	平成26年 6月 5日(木)	教員参加人数11名
・ 第3回全学FD委員会	平成26年 7月 3日(木)	教員参加人数11名
・ 第4回全学FD委員会	平成26年 9月 4日(木)	教員参加人数10名
・ 第5回全学FD委員会	平成26年10月 2日(木)	教員参加人数10名
・ 第6回全学FD委員会	平成26年11月 6日(木)	教員参加人数10名
・ 第7回全学FD委員会	平成26年12月 4日(木)	教員参加人数 9名
・ 第8回全学FD委員会	平成27年 1月 8日(木)	教員参加人数11名
・ 第9回全学FD委員会	平成27年 2月12日(木)	教員参加人数11名
・ 第10回全学FD委員会	平成27年 3月19日(木)	教員参加人数 9名

平成27年度の開催状況

・ 第1回全学FD委員会	平成27年 5月13日(水)	教員参加人数10名
・ 第2回全学FD委員会	平成27年 6月 3日(水)	教員参加人数10名
・ 第3回全学FD委員会	平成27年 7月 1日(水)	教員参加人数10名
・ 第4回全学FD委員会	平成27年 9月 2日(水)	教員参加人数10名
・ 第5回全学FD委員会	平成27年10月 7日(水)	教員参加人数10名
・ 第6回全学FD委員会	平成27年11月11日(水)	教員参加人数10名
・ 第7回全学FD委員会	平成27年12月 2日(水)	教員参加人数10名
・ 第8回全学FD委員会	平成28年 1月13日(水)	教員参加人数11名
・ 第9回全学FD委員会	平成28年 2月 3日(水)	教員参加人数11名
・ 第10回全学FD委員会	平成28年 3月 2日(水)	教員参加人数11名

平成28年度の開催状況

- ・第1回全学FD委員会 平成28年 5月19日(木) 教員参加人数10名
- ・第2回全学FD委員会 平成28年 6月 8日(水) 教員参加人数10名
- ・第3回全学FD委員会 平成28年 7月 6日(水) 教員参加人数 8名
- ・第4回全学FD委員会 平成28年 9月14日(水) 教員参加人数10名
- ・第5回全学FD委員会 平成28年10月 5日(水) 教員参加人数10名
- ・第6回全学FD委員会 平成28年11月 9日(水) 教員参加人数10名
- ・第7回全学FD委員会 平成28年11月30日(水) 教員参加人数10名
- ・第8回全学FD委員会 平成29年 1月11日(水) 教員参加人数 9名
- ・第9回全学FD委員会 平成29年 2月 1日(水) 教員参加人数10名
- ・第10回全学FD委員会 平成29年 3月 1日(水) 教員参加人数10名

c 委員会の審議事項等

全学FD委員会

- (1) 全学的なFD活動のための基本方針の策定
- (2) 授業アンケートの組織的活用方法について
- (3) 私立大学FD連携フォーラムでの活動について
- (4) 授業公開について
- (5) FDハンドブックの作成について

部局別FD委員会

- (1) 部局のFD研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (2) 授業アンケートにおける活用方法の検討
- (3) その他部局のFDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

全学的FDの取り組み

- ① 新任教員のための研修会
- ② 人材養成の目的、及び3ポリシーの活用について
- ③ 主体的な学びについて
- ④ 他大学とのFD情報の共有
- ⑤ 学修支援体制の構築

平成28年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 7月29日(金) 「3つのポリシーの作成と活用 ～何をどうアセスメントするか～」
- ⑦ 12月20日(火) 「明星教育を語り合う-次世代に受け継ぐ明星大学の教育-」

b 実施方法

全学的FDの取り組み

① 新任教員のための研修会

新任教員研修については、本学の建学の精神の伝達から、本学で教育研究を行うためのルールなどについて解説を行っている。また、公益財団法人八王子セミナーハウス主催の新任教員研修に参加し、模擬授業、各種WS、高等教育の最新事情などの理解を深めた。

② 人材養成の目的、及び3ポリシーの活用について

教育の質保証サイクルをしっかりと回すために、現行の人材養成の目的を敢えて見直し、それに紐づく3ポリシーを現行の教育課程の状況をアセスメントして策定し直し、2ヵ年計画で実施した。平成26年度にDP、CP、APの規程化を完了している。CPの部分については、カリキュラムMAPを策定し、開設科目の順序性、及び整合性を示すことが出来るよう部局毎総意で決めた。平成27年度以降も継続して意見交換を行い、平成28年度には学外講師を招聘した研修会も実施した。

③ 主体的な学びについて

学生が主体的な学びをする為に、学内の事例を共有し、且つ一般的にはどのように考えられているかについて、平成26年度は他大学の講師を招聘し、学内で共有した。成績評価の厳格化から授業手法等多岐に渡る内容を情報共有し、まずはそれぞれの教員が参考にして実践していくこととした。平成27年度、平成28年度は、1年生と3年生に実施しているアセスメントテストの結果をもとに、如何にして本学の学生の特徴を主体的な学びに結びつけるかの示唆を得た。

④ 他大学とのFD情報の共有

FDの実践について、他大学での情報を多く探る機会が増大したことによって、よりスムーズな情報共有が必須となってきた。私立大学FD連携フォーラムの懇談会、総会などに参加し、得た情報を全学FD委員会に展開した。

⑤ 学修支援体制の構築

平成28年度には学修支援体制の見直しに係る議論を学部長会、教授会を通じ全学的に行い、各学部学科での学修支援指導計画の検証をおこなった。

平成28年度 全学FD研修会の実施状況

- ⑥ 7月29日(金) 「3つのポリシーの作成と活用 ～何をどうアセスメントするか～」
講演 講師 関西国際大学 濱名 篤 学長

- ⑦ 12月20日(火) 「明星教育を語り合う-次世代に受け継ぐ明星大学の教育-」
講演 講師 明星学苑 小川 哲 副理事長、明星大学 佐々井 利夫 副学長、
明星教育センター 菊地 滋夫 センター長

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的FDの取り組み

①新任教員のための研修会

新任教員全員が参加した。

②人材養成の目的、及び3ポリシーの活用について

平成26年度までに全教員が参画して策定した3ポリシーの活用につき検討を行い、平成28年度には外部講師も招聘し、これまでの取組の見直しを行った。平成29年度には、PDCAサイクル確立に向けて、引き続き改善を図る予定である。

③主体的学びについて

どうしたら学生が能動的自律的学習者になるか、についての議論が主であり、全学FD委員会での議論をFD研修会に絡めて議論した。

④他大学とのFD情報の共有

FDフォーラムなど、逐次情報共有した。私立大学FD連携フォーラムでは、本学教職員が参加して、3ポリシーの活用について、具体的な意見交換を行った。

⑤教員相互の授業参観における授業公開状況

【前期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、10科目公開
経済学部 …全教員、40科目公開
デザイン学部 …全教員、全科目公開

【後期】

全学共通教育 …全教員、全科目公開
理工学部 …全教員、卒業研究をのぞく全科目公開
人文学部 …2名、11科目公開
経済学部 …全教員、39科目公開
デザイン学部 …全教員、全科目公開

平成28年度 全学FD研修会の実施状況

⑥ 7月29日(金) 「3つのポリシーの作成と活用 ～何をどうアセスメントするか～」

参加者 127名

⑦ 12月20日(火) 「明星教育を語り合う-次世代に受け継ぐ明星大学の教育-」

参加者 142名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

近年は、徐々にではあるがFDの理解も高まり、教職員間でも必要性が認識されてきた。ただし、かならずしも十分とはいえず、更なる全学的な取り組み、及び意識の高揚のため、さらなる全学的な検証が必要である。引き続きFD活動を通じて意識改革を図ることに加え、全学的な体制も、状況に応じて見直しを行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施の有無 全学共通実施
- ・実施時期 前期及び後期の試験実施期間前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・学生への情報公開 前年度実施概要を本学ウェブサイトにて公開
- ・教員への情報提供 実施の2～3か月後に個別に本学ウェブサイトにて提供
- ・組織的取り組み 学部ごとに実施

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、大学基準に適合していると認定される（期間：平成23年度～平成29年度）。

・平成29年度末に現在の認証評価期間が終了することから、本学では平成28年度末に公益財団法人大学基準協会に対し大学評価に係る申請書類の提出を終えた。今後平成29年度は、同協会による大学評価を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成 29年 7月28日)

明星大学ファカルティ・ディベロップメントに関する規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、明星大学学則（昭和 39 年 4 月 1 日）第 61 条第 2 項、明星大学大学院学則（昭和 46 年 4 月 1 日）第 49 条第 2 項、明星大学通信教育部学則（昭和 42 年 4 月 1 日）第 57 条第 2 項及び明星大学通信制大学院学則（平成 11 年 4 月 1 日）第 40 条第 2 項に基づき、明星大学（以下「本学」という。）におけるファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を推進するための組織及び運営について、必要な事項を定める。

(FD 活動の組織)

第 2 条 FD 活動は、以下の組織単位でこれを行う。

- (1) 全学で行う FD
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程で行う部局別の FD
- (3) その他、必要に応じて学科等で行う FD

(FD 委員会の組織)

第 3 条 前条の目的を達成するために、以下の委員会を置く。

- (1) 全学 FD 委員会
- (2) 学部、研究科、全学共通教育委員会又は通信教育課程等における部局別 FD 委員会
- (3) その他、必要に応じて置かれる FD 委員会

(全学 FD 委員会の任務)

第 4 条 全学 FD 委員会の任務は、次の各号に定める通りとする。

- (1) 全学的な FD 活動のための基本方針の策定
- (2) 全学的な FD 研修の企画、実施、評価、改善及び報告
- (3) 新任教員に対する全学的な FD 研修
- (4) 授業に関する学生アンケートの企画及び活用方法の検討
- (5) 部局による FD 研修への協力・助言
- (6) その他全学的な FD に関連する事項

(全学 FD 委員会の組織)

第 5 条 全学 FD 委員会は、次の各号に定める者をもって組織する。

- (1) 学長が指名する副学長
- (2) 各学部の教務委員長
- (3) その他、学長が指名する教職員若干人

2 前項第 1 号及び第 2 号に定める委員の任期は、その職制にあるうちとする。

3 第 1 項第 3 号に定める委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

(全学 FD 委員会の運営)

第 6 条 全学 FD 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、学長が指名した副学長とする。

- 3 副委員長は委員の互選により選出する。
- 4 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 5 委員長に支障があるときは、副委員長がその職務を代行する。
- 6 委員長が必要と認めたとき、委員会に委員以外の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- 7 全学 FD 委員会の事務は、教務企画課が行う。
(部局別 FD 委員会の任務)

第 7 条 部局別 FD 委員会の任務は、次の各号に定める事項とする。

- (1) 部局の FD 研修の企画、実施、評価、改善及び報告
 - (2) 授業に関する学生アンケートの部局における活用方法の検討
 - (3) その他部局の FD に関連する事項
- 2 部局別 FD 委員会について必要な事項は、各部局で定める。
(部局別 FD 委員会の組織)

第 8 条 部局別 FD 委員会は、各部局別に次に定める者をもって組織する。

- (1) 学部 FD 委員会
 - ア 学部長
 - イ 学部の互選により選出された者
 - ウ 学部長が指名する当該学部所属教職員
 - (2) 研究科 FD 委員会
 - ア 研究科長
 - イ 研究科の互選により選出された者
 - ウ 研究科長が指名する当該研究科所属教職員
 - (3) 全学共通教育 FD 委員会
 - ア 全学共通教育委員会委員長
 - イ 全学共通教育委員会の互選により選出された者
 - ウ 全学共通教育委員会委員長の指名する全学共通教育委員会所属教職員
 - (4) 通信教育部 FD 委員会
 - ア 通信教育課程長
 - イ 通信教育代表委員会の互選により選出された者
 - ウ 通信教育課程長が指名する教職員
- (雑則)

第 9 条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、大学評議会の議を経て、学長が定める。

(改廃)

第 10 条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

心理学部心理学科

定員充足状況

心理学部心理学科は、50年の研究教育実績を持つ人文学部心理学科を母体として、平成29年4月に設置された。入学定員は、人文学部心理学科の110名から10名拡大して120名とし、「産業・組織心理学」領域を専門とする教員1名を増員した。新学部初年度の入試では、志願者数が全ての入試区分において前年度比150%を超え、また、一般入試においては5倍から9倍という実質倍率を達成して、新入生140名を迎えることができた。

カリキュラムの概要と人材養成の方針

心理学部心理学科では、①心理学の専門知識を活用して一般企業等、社会の様々な場面・職域で活躍できる人材と、②対人支援や心理学の専門職に就くための基礎となる資質を備えた人材とを育成する。このため、学生がここに設定する各自の学びの目標として、(a)人間科学、(b)産業・社会、(c)発達支援、(d)カウンセリングという4つの履修モデルを設定した。心理学部のカリキュラムを偏りなく履修することで、日本心理学会が認定する「認定心理士」ならびに「認定心理士(心理調査)」資格を取得できる。加えて、「キャリア形成科目」群に「心理学で拓くキャリア」を配置し、心理学の素養を職業的・社会的自立につなぐ学びをも促し、「就職に強い心理学部」、「資格取得に強い心理学部」の実現を目指している。

なお、平成27年9月に成立した「公認心理師法」に基づく国家資格「公認心理師」については、学部と大学院をあわせた6年間の養成課程となるため、将来は本学大学院心理学専攻と協調して、同資格に対応したカリキュラムを整備する予定である。

心理学部第1期生(1年生)の学びとその支援体制

心理学部心理学科の学生は、現在、1年生のみである。心理学部心理学科のカリキュラムでは、1年生から、「心理学概論A」、「心理学概論B」、「心理統計法1」、「心理統計法2」、「心理学研究法」の必修5科目に加え、選択専門科目「比較心理学」、「産業心理学」、「障害児(者)心理学」、「基礎臨床心理学」、「性格心理学」、「児童心理学」の履修を可能としている。入学直後の、心理学への興味関心がいっそう高い時期に、幅広い専門性に触れることができるカリキュラムは、学生の今後の学びに好影響を及ぼすものと期待される。

1年生は、12名ずつのクラスに分けられ、それぞれのクラスに担任教員を充てて、履修指導・生活指導を行っている。必修科目の出席状況に問題がある(2回連続欠席、或いは、通算3回の欠席)学生については、心理学部の教育研究活動支援のため組織である「心理学部支援室」を通じて当該学生と連絡を取り、担任による面接指導を行うこととしている。

総括評価と所見

上記の通り、現段階では、心理学部心理学科については、その設置の趣旨・目的を順調に達成しつつ、学生の教育が進展しているものと思量される。